
議会改革検討会会議記録

令和5年6月14日

会 議 記 録

会 議 区 分	議会改革検討会	
開 催 年 月 日	令和5年6月14日	開 議 午後1時00分 散 会 午後1時20分
場 所	苫小牧市議会 議会大会議室	
出 席 者	代 表 者	金澤会長、神山団長、小山代表、牧田代表、 小野寺団長、谷川代表、 触沢議員
	代理出席者	—————
	正・副議長	藤田議長、岩田副議長
欠 席 者	—————	
説 明 員	—————	
事 務 局 職 員	宮沢事務局長、小西事務局次長、岸田副主幹、 神野主査、近藤主査、杉原主任書記、樺島書記	
付 議 事 件 及 び 議 事 の 経 過 概 要	別紙のとおり	

●議長（藤田広美） お忙しいところ御参集いただき、ありがとうございます。
ただいまから議会改革検討会を開会いたします。

●議長（藤田広美） 今回改選後初の検討会となりますが、改正前の3月10日開催の議会改革検討会において引継ぎとなった8項目について、さらに、新たな検討項目の追加、優先して取り組む事項についても御意見を伺い、6月定例会の検討会では検討事項の決定について協議ができるようにしたいと考え、本日の検討会を開催させていただきました。

本日の案件については、会議案のとおりでございます。

資料の掲載場所は、サイドブックス、議会改革検討会、令和5年6月14日でございます。

資料1に検討会の実施方針についてを記載してございます。

本日の検討会におきましては、資料2にございます引継事項8項目についての御意見、また、新たに検討項目として加える必要があるものを御協議していただき、さらに、2年後の中間人事までの間に結論を出せるよう優先して検討する事項についても御意見をいただければと思っております。

それでは、議会改革の検討項目について、協議に入らせていただきます。

最初に、引継事項の8項目についてであります。

なお、項目8の陳情の在り方についてにつきましては、2月定例会において、改善前における任期が4月末までであることから、議会運営委員会から申し送りの依頼があったものを3月10日開催の議会改革検討会において一時的に引継事項に追加したものであることから、議会運営委員会に協議の場を戻してはいかがかと考えております。

そのことも含めて、引継ぎのあった8項目について、各会派の御意見を伺いたいと思います。

新緑さん。

●新緑会長（金澤俊） 私どもは、まず、この引継ぎをされた検討項目8項目については、そのまま検討項目としてはどうかと思っております。

中でも、やはり優先順位としては、議員定数と、あと2番目の議会のICT化の推進、この2点を重点的に進めていくべきだろうというふうに思っております。

理由は、議員定数は、これまでもそうでしたように、やはり今後、新人議員さんが立つことなんかも考えて、前期でやはり決めておかないといけないだろうということ

ですので、現状維持なのか、削減あるいは増やす、いろいろな結論があるかと思えますけれども、いずれにしても前半でこの議員定数については決めるべきであろうと思っております。

それから、先ほどの8番目の陳情の在り方については、議運に戻すということでもよろしいかと思っております。

2番目のICTのことについても、オンライン会議のルール化ということが具体的な内容になっておりますが、それ以外の議会の情報発信の在り方であるとかについても我が会派でいろいろな意見も出ておりますので、その辺は実務者会議の中でやっていくという、ちょっと幅広く捉えていただければありがたいかなというふうに思っております。

以上です。

●議長（藤田広美） 公明党議員団さん。

●公明党議員団団長（神山哲太郎） 引継事項の8項目については、そのとおりでしていただいてよろしいかというふうに思います。

まず最初に、陳情の在り方についてですけれども、議運のほうで進めるということで、そのような方向性でやっていただければというふうに思っています。

それから、特に引継事項の中でも重要と思われるのが、議員定数と、それから議会のICT化の推進ではなかろうかなというふうに思います。

議員定数については、特に、やはり先ほども新緑の金澤代表のほうからもありましたけれども、今後、新人の議員さんが出るに当たっては、なるべく定数というのはやはり当然にらんで、出る出ないということを決めると思っていますので、なるべく早く結果を出していく。前半の2年は当然のこととして、速やかに定数を出していくほうがよいというふうに考えております。

それから、ICT化につきましても、我々は今タブレットとかを使っていますけれども、全てが使いこなしているわけでもありませんし、やはりまだまだ新しい使い方、情報の在り方、それから多様な使い方をしっかり学んでいかなければいけないということもありまして、日進月歩のこのICT化でありますので、しっかり我々もこれに倣って推進をしていく必要があるのではないかなと思っているところから、やはり強く進めていただきたいなというふうに思っております。

今のところは、以上であります。

●議長（藤田広美） 民主クラブさん。

●民主クラブ代表（小山征三） 引継事項の8項目、このまま引き継がれることでいいと思います。

その中で8項目めの陳情の在り方は、先ほど来ありますとおり、議会運営委員会に引き継ぐということだと思います。

その中で、1番、2番を私ども会派は優先してやるべきかなど。意見は同様なのですけれども、議員定数はやはり早めに整理しなければ、次に出る人のことも考えれば必要であるということと、2番目の議会のICTの推進について、最近全国的に災害が発生しているということから、オンラインを活用した委員会なども開催できるようにしておかなければならないということから、1番、2番はやはり優先的にやるべきかなど。全てを優先にしてもなかなか2年間で解決できないので、1番、2番を中心に進めていただきたいと考えております。

追加は後ですね。

●議長（藤田広美） 改革フォーラムさん。

●改革フォーラム代表（牧田俊之） 我々改革フォーラムは、現在この8項目について引き継ぐということに対しては賛成です。

優先順位ということですが、皆さんのとおり、1番、2番、項目でいうと議員定数と報酬と、それとICT化ということなのですから、新緑さんもおっしゃっていましたとおり、定数については、もう前期の2年で結論を出すべきだということに賛同いたします。

また、併せて、皆さんあまり議員報酬のほうということで御意見なかったですが、もともと我々の会派は定数減と議員の報酬アップという、こういったセットですべきでないと言われますけれども、これはセットで考えるべきではないかということで提案していましたので、ぜひとも報酬のほうも、ここで決めるべき案件ではないのですけれども、方向性だけでも出していければというふうに思っています。

それと併せて、できるならば項目ナンバーの6番、決算・予算特別委員会のほうの時間のアンバランスというところをぜひ是正に取り組むべきではないかというふうに思っております。

8番の陳情の在り方についてということでは、議運への申し送りで結構です。

以上です。

●議長（藤田広美） 日本共産党市議団さん。

●日本共産党市議団団長（小野寺幸恵） まず、8番の陳情の在り方については、議運のほうに申し送りするということでは賛同いたします。

その上で、どこから優先的にということなのですが、私たちとしては、3番の中にある全員協議会を積極的に進めていくという問題だったり、あとは、市民と議会との関係というところでは、市民との意見交換会を積極的にやるということ、私たちが

つくっている議会基本条例に基づいて積極的に進めていくべきだと思いますので、これは前期の中でもまず取り組みたいと思っています。

その上で皆さんからの御意見があった定数問題というのは、次期改選期を踏まえると、やはり前期の中で結論を出すべきだと思います。削減だけではなくて、現状維持も含めて、みんなで議論を早急にして、早めに結論を出すということについては賛同いたします。

そして、2番のICT化も私たちは急がれるとは思っているのですが、実務者会議を立ち上げるという方向性は決まっていたと思うので、これは、この議会改革検討会から少し離れて議論すると思うので、3番のところにも手がけながら並行していくことは時間的にも現実的ではないかなと思いますので、そういう考え方を持っています。

以上です。

●議長（藤田広美） 会派市民さん。

●会派市民代表（谷川芳一） 先ほどの代表者会議と同じような繰り返しののではようね。

それで、まず私どもは、もうとにかく第一には、議員定数、報酬のセット論、これは私も減らして、減らした分から財源を、100%使わなくても、そこから確保して、幾らか残してでもやらなければいけない。なぜなら、これだけ世論の中でも、物価も上がり、また電気料金もこれから上がるということでやる中で、やはり議員が専念する人も多くなってきたので、あとやはり世論等を踏まえた上で、あくまでも減らした上で議員報酬を上げる。それを議員報酬を上げるにしても、これは審議会ですることだけれども、議会として、やはり市長にもその旨伝えて、やはり上げてくれということセット論でやっていただきたいなという考えを私どもは持っています。

それから次は、2つ目はこの質問時間の見直しですね。これについては、まだ改選したばかりで、1人20分掛ける人数ということになったのですけれども、これになると、正直言って20分といたら、ほとんど質問が、時間が1個、2個で限られてしまって、なかなか、会派がたくさんあればいいのですけれども、最低40分あればいいなと思います。だから今まで、正直言って、私どもは少数会派で長く甘んじていたのですけれども、そういう中では、少数会派も加味してくれるということで、この日まで会派として、最低2人以上いれば会派としてみなして時間を与えてくれた。それを今回あえて削られたというのはどういうことかということ、私はまだ詳しく理解をしていないのですけれども、ぜひこれは、そういうことを含めて再度見直してほしいということで、また代表者が代わって、私のほうはそういうふうに訴えて、そして扱っていただきたいなというふうに思っています。

あとのことについては流れで、まずこの前半2年間で、この今上げた題目を積極的に取り扱っていただきたいというふうに強く思っています。

改めて言います。議員定数問題、報酬問題、それと質問時間の見直しの問題について再度検討していただきたいと。あとについては、皆さんと一緒に流れで結構かなと思っています。

●議長（藤田広美） 触沢議員。

●無所属（触沢高秀） ありません。

●議長（藤田広美） ただいま各会派から様々な御意見が出まして、議員定数と、1番と2番は早期に前期で決定してほしいと、そういった声が大半でありました。そのほかにも、議会運営の中で、全員協議会での議員間討議、そして市民と議会の関係で、市民との意見交換会の活性化、またさらには、議員の質問時間の見直し、さらには予算と決算のアンバランスの解消、そういった声もございました。そのほかにも、議員報酬もセットで考えるべきだと、そういった提案もございました。

そういうのを含めて、様々順番も今後考えていきたいと思うのですけれども、ただいま各会派から御意見いただきました項目8の陳情の在り方については、議会運営委員会に協議の場を移すと、そういったことで皆さんから同意をいただきましたので、私から議会運営委員会委員長に申し送りをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

次に、新たな検討項目について各会派の御意見を伺いたいと思っております。

このほかに、こういったことが必要ではないか、そういった意見がございましたら言っていただきたいと思っております。

新緑さん。

●新緑会長（金澤俊） 先ほどちょっと申し上げましたけれども、ICT化の推進の部分で、これはオンライン会議のルール化というところが主な検討項目になっているので、さっきも言いましたけれども、ちょっと情報の発信の在り方みたいなものを提案を今後していければというようなことを、うちの会派の中では考えているものですから、その辺りは今後ちょっとこの実務者会議の中でですけれども、進めていきたいなと思っています。

●議長（藤田広美） 公明党議員団さん。

●公明党議員団団長（神山哲太郎） 今のところ、特にありません。

●議長（藤田広美） 民主クラブさん。

●民主クラブ代表（小山征三） 会派の中で、これを追加してくれというのは具体的にはなっていないのですけれども、ちょっと検討の中身から言いますと、実は20

22年の議会改革のランクが出たのです。早稲田大学のマニフェスト研究所で出したもので、道内の登別が1位になって、それは何かというと、通年議会が占めているということなのです。通年議会になると専決処分が要らないということから、それを導入したということなのですけれども、専決処分そのものが議員を集める時間的余裕がないときに予算を執行しなければならないという条文は、やはりそこはそこで尊重しなければならないのかなと。

そして、登別の実態を見ますと、その通年議会の中でやっているのが、昨年であれば、定例会4回、臨時会4回、うちと同じ状況なので、うちは専決処分をやらなくても十分議会を開いているので、定例会と臨時会をやっているということから、通年議会はまだ議論というか、テーマに上げるほどではないなというのが、うちの会派で1点ありました。

それともう一点が、市長選と市議選の同一選挙というのも、ちょっと話題には上がったのですけれども、まだ今のところ、現状ではそこまで至っていないという状況で、経過だけですけれども、お話しさせていただきました。

●議長（藤田広美） 改革フォーラムさん。

●改革フォーラム代表（牧田俊之） 今のところはありません。

●議長（藤田広美） 日本共産党市議団さん。

●日本共産党市議団団長（小野寺幸恵） 特にありません。

●議長（藤田広美） 会派市民さん。

●会派市民代表（谷川芳一） 今のところはございません。出たときにお願い申し上げます。

●議長（藤田広美） 触沢議員。

●無所属（触沢高秀） ありません。

●議長（藤田広美） ただいま新緑さんからの情報発信の在り方については、実務者会議で検討していただきたいということが意見ございましたので、これについては含めてもよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

●議長（藤田広美） では、そういうことで含めていただきたいと思います。

あと、民主クラブさんの通年議会が必要ではないという声があったという御意見がありましたので、今後またそういった御意見が出た場合にまた検討していきたいと思っていますので、一応追加なしということになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、優先順位について、また具体的に、先ほどもお伺ひしたのですけれども、ほ

とんど出ているよね。先ほど各会派から優先順位も含めて意見いただきましたので、そのことをちょっとまとめさせていただきましたので、ちょっと私のほうから報告させていただきます。

項目1の議員定数そして報酬について及び項目2の議会のICT化の推進についてを最優先項目としていきたいと。

そして、項目3の全員協議会の議員間討議についても、市民との意見交換会の活性化、項目4の質問時間の見直しについて、項目5及び6の委員会の在り方についてという御意見をいただきましたので、これらを含めて、できる限り議論をしていただいて進めていきたいというふうに考えております。

本日各会派から出された御意見をまとめたものを定例会最終日の検討会でお示しをしていきたいと思っておりますので、そのときに御確認いただいて、今後の検討会において協議を進めてまいりたいと、そのように思っていますが、そのような進め方でよろしいでしょうか。

小山代表。

●民主クラブ代表（小山征三） 1点だけ。議員定数と報酬についてなのですが、実はこれは道内の主要都市の状況が、私なりに調べるのですが、共通の認識を持つ意味から、そういう資料を、次回で結構ですので、作成していただいてもらえればと感じています。

●議長（藤田広美） 事務局のほうでそれは整理させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

その他、何かございますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

●議長（藤田広美） それでは、そのように進めさせていただきますと思ひます。

●議長（藤田広美） この場合、議長から申し上げます。

議会基本条例及び倫理条例の研修会についてでございます。

議会基本条例第15条第2項において、議会は、議員にこの条例の理念を浸透させるため、一般選挙を経た任期開始後、速やかに、この条例の研修を行わなければならないとされていること及び4月から倫理条例が施行されていることから、7月4日火曜日10時半から研修を行いたいと考えております。会場等については、改めて6月定例会中に御連絡いたします。

この件については、よろしいですね。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

●議長（藤田広美） その他皆様から何かございますか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

●議長（藤田広美） 以上で、本日の議会改革検討会を終了いたします。
御苦労さまでした。

散 会 午後1時20分

以 上。